

## 令和6年度 法人事業報告

法人念願のわかば園の改築工事が令和7年3月10日より工程表に沿って開始されました。まず、旧園舎が解体され、跡地の新園舎の建設予定の地盤構造改善工事が進められています。令和7年9月末の完成が楽しみです。

さて、令和6年度の事業活動会計は、ヘルパー事業のヘルパー職員の確保など課題はありますが、概ね良好です。法人単位事業活動のサービス活動増減差額は1,456万円の黒字です。(令和5年度は948万円の黒字)

各事業所の活動状況はホームページでご覧ください。

## 令和6年度 決算報告



法人単位資金収支計算書  
(自)令和6年4月1日(至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		決算(B)
に事	就労支援事業収入	2,457,584
よ業	障害福祉サービス等事業収入	156,049,585
る活	経常経費寄附金収入	80,180
取動	受取利息配当金収入	11,106
支	その他の収入	81,086
	事業活動収入計(1)	158,680,291
に事	人件費支出	116,114,699
よ業	事業費支出	16,798,590
る活	事務費支出	7,105,386
取動	就労支援事業支出	2,288,155
支	支払利息支出	769,307
	その他の支出	1,188
	事業活動支出計(2)	143,075,925
	事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	15,604,366
に施	施設整備等寄附金収入	4,100,000
よ設	施設整備等収入計(4)	4,100,000
る整	設備資金借入金元金償還支出	1,920,000
收備	固定資産取得支出	86,780,400
支等	固定資産除却・廃棄支出	192,500
	施設整備等支出計(5)	68,242,900
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△64,142,900
にそ	積立資産取崩収入	144,000
よの	その他の活動による収入	64,000
る他	その他の活動収入計(7)	208,000
の支	役員等長期借入金元金償還支出	1,460,000
支活	その他の活動支出計(8)	1,460,000
動	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,252,000
	予備費支出(10)	0
	当期資金収支差額合計(11)=(8)+(9)-(10)	△49,790,534
	前期末支払資金残高(12)	49,903,732
	当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	118,198

法人単位貸借対照表  
令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債の部				
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	62,265,033	55,313,833	6,951,200	流動負債	64,981,835	8,190,101	56,741,734
固定資産	140,911,812	78,163,281	62,748,531	固定負債	7,264,000	10,044,000	△2,780,000
(基本財産)	62,974,176	65,087,586	△2,113,410	設備資金借入金	1,780,000	3,100,000	△1,320,000
土地	21,950,091	21,950,091	0	役員等長期借入金	5,484,000	6,944,000	△1,460,000
建物	41,024,085	43,137,495	△2,113,410	負債の部合計	72,135,835	18,234,101	53,981,734
(その他の固定資産)	77,937,636	13,075,835	64,861,941	純資産の部			
資産の部合計	203,176,845	133,477,114	69,699,731	基本金	26,607,783	22,507,783	4,100,000
				国庫補助金等特別積立金	23,291,452	25,071,175	△1,889,723
				その他の積立金	7,157,901	7,901,901	△144,000
				次期繰越活動増減差額	73,983,874	60,362,154	13,621,720
				純資産の部合計	130,981,010	115,243,013	15,737,997
				負債及び純資産の部合計	203,176,845	133,477,114	69,699,731



編集後記 今年は梅雨らしい雨も降らず、あっという間に真夏になりましたね。

各事業所では楽しいイベントが開催されており、利用者様の楽しそうな様子が伝わってきて嬉しく思います。水分補給をしっかりと暑い夏を楽しみましょう！

文責：津浦

## 社会福祉法人 緑樹福祉会

# 緑樹福祉会だより

<https://www.ryokuju-fukushi.com/>

第13号 令和7年7月

赤穂市大津 1041

TEL 0791-45-2240

FAX 0791-56-9000

## 理事長挨拶

理事長 三村佳壽子

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。とは言うものの近年の気象の変化に体も街の整備も追いついていかない状況です。河川の増水、土砂災害を引き起こすゲリラ豪雨が年々増えているように感じます。当法人の利用者、職員を災害から守るため各事業所の防災の意識、訓練強化に励みます。

さて、昨年度より取り掛かっている「わかば園改築」もこの7月には鉄骨が立ち中間検査を迎えるになりました。一つのことを成し遂げるには、いくつかの難題が待ち受けている物です。その難題を、理事、評議員、監事、行政、さらに地域の皆さま、家族会、赤穂市手をつなぐ育成会のご協力、知恵をお借りしながらここまで進めてくることが出来ました。中心となるわかば園管理者はこの大きなプロジェクトに向かい幾度となく心折れながらも乗り越えながら地道に進めております。何よりも事故無く完成に向かうよう日々祈っております。

ところで、この月は参議院選挙です。今の日本をみると気象の変化と同様、常識・価値観など一瞬にして崩れ落ちていく様を目の当たりにし、憂うとともに危惧します。

これまで崩れることはないと確信していた選挙の在り方が顕著に物語っています。選挙は国民の権利であり民主主義国家の在り方と信じています。選挙に関心を持たない人が増えることは自分たちの社会の衰退、民主主義の根幹を揺るがす事態になりかねません。

障害者福祉業界においては支援費改正、人材不足、燃料費高騰により多くの事業所が閉所を余儀なくされています。

当法人は、皆様のご理解、ご協力、ご指導により設立時の理念を守り、自己選択、自己決定し社会の中であたり前で豊かな暮らし（経済的、精神的）の実現に貢献いたします。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## この現実、どうします？

統括管理者 中本定行

2024年7月 大変残念でいまわしい事件がありました。

障害のある44歳息子（次男）を78歳の父が殺害したのです。自傷行為のある彼を長期入所できる施設が見つからず神奈川県から千葉県転居し自宅で介護中のことでした。

千葉地裁では、「生命だけでなく、生きる楽しみを奪った。」と、起訴し、弁護側は、「父親だけを責めることはできない。執行猶予を。」と訴えました。

2025年3月12日に判決がでました。好きな音楽を聞くなど自分なりの楽しみを見つけていた。自分や妻が倒れれば、面倒を見るものがいなくなると短絡的に考え、最悪の手段を選択した。として、懲役3年執行猶予5年が言い渡された。ニュースでのコメントは、いつか介護ができない日がくることを念頭に置くことが重要だ。しかし、専門性の高いスタッフの確保、夜勤ができるスタッフの確保が難しいのが現実がある、と。関連して、「施設入所ができず待機している障害のある人」は、NHKと専門家の調べでは、2万2千人余と報道している。国レベルで待機者の状況把握はされていないとか。また、「待機者」の定義も「申込しているが入所できない人」「緊急性があるが入所できない」など定義自体にばらつきがある、とも伝えています。

さて、我々は今どう行動すればいいのでしょうか？

## わかば園（生活介護・就労継続支援B型）

管理者 仲千恵子

皆様には日頃より温かいご理解とご協力を頂いておりまること、心より御礼申し上げます。厳しい暑さが続いておりますが、利用者の皆様は毎日元気に活動に取り組まれています。わかば園の建て替えは、順調に進んでおり、新施設は予定通り9月末の完成となります。利用者の皆様が落ち着いて過ごせる空間、居心地の良い環境作りを目指し進めています。

### 【令和7年度の前半活動報告】

5月に、ばんたん運動会に参加しました。帰りの車中では「悔しい！」「玉入れの時のあのチームはすごかつたな」と盛り上がり「来年はもっと練習しよう」と反省しきりでした。生活介護の外食マナーでは、各自券売機で食券を購入し美味しそうに召し上がってきました。七夕の笹には、利用者様が思い思いに短冊に願いを書き、飾り付けをしました。8月には夏祭りを予定しており、輪投げ、ゲーム等を準備しており、利用者様、保護者、職員とも楽しめるように考えています。就労継続支援B型では、新規に除草作業依頼があり「きれいにして下さり、ありがとうございます」とお礼のことばをいただき、その後再依頼がありました。ネギの皮むきも再開しました。熱中症予防対策としましては冷房管理、水分補給を徹底し安全に配慮しております。

施設の建て替えは大きな節目ですが、今まで以上に利用者様の思いに寄り添う支援を大切にしてまいります。地域の皆様にも親しまれる施設を目指していきたいと思います。



利用者様作品 スイミー



七夕飾り



ばんたん運動会

## ファミリア（共同生活援助）

管理者 前田康裕

ファミリアもお陰を持ちまして、無事に5年目を迎える事ができました。

これまで色々と困難もございましたが、関係者の皆様のご協力により、何とか乗り切ってまいりました。これからは基礎固めを終え、一段階上を目指す時期です。令和6年度障害福祉サービス等報酬改定において、共同生活援助に、「地域連携推進会議」の開催が令和7年度からは義務となりました。

「地域連携推進会議」とは、①利用者様と地域との関係作り②地域の方々の施設や利用者様に関する理解の促進③施設やサービスの透明性・質の確保④利用者様の権利擁護の4つを目的としており、開催頻度は、概ね年1回以上会議を開催する事と、年1回以上見学の機会を設ける事とあります。

これにより、障害のある方についての理解を深めたり、利用者様の社会参加する機会がひろがったり、第三者の目が入る事で、支援等を改めて考える機会となり、ファミリアにおいてのサービス提供の見直しや質の透明性、質の向上が図れたり出来るようにしていきたいと考えています。

## ぱいろっと（相談支援）

管理者 前田康裕

日頃は「相談支援事業所ぱいろっと」にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、令和3年度の報酬改定により、複数事業所協働による体制の確立や質の向上を図り、更なる相談支援の質の向上を見据えています。

かねてより、「ぱいろっと」は一人事業所として奮闘してきましたが、相談支援専門員の増員が必要です。

現在、赤穂市を中心として、協働に向けた話し合いを重ねています。協働の実現で経営の改善・強化と相談支援の質の向上に繋がると考えております。

## てくてく（放課後等デイサービス）

管理者 藤田真紀子

てくてくでは、毎日のおやつを自分で選んで頂いています。いつも同じではなく、他のおやつを選ぶことができるようになり、好みが広がりました。自分で選び決定する機会を増やしていくことで、様々な場面で、自己決定・意思表示ができるように取り組んでいます。今年も自治会の方から七夕の笹を頂きました。「かぞくげんきにすごす」「おべんきょうがんばる」と短冊に願いを込めて書き、七夕飾りと一緒に笹に飾り季節の行事を楽しみました。今年度は、新たに「救急教室」を受講しました。消防の方に、心肺蘇生とAEDの使い方と手順・止血処理の仕方、そして、夏の暑い時期に起こりやすい熱中症の対応を学びました。定期的に受講を行い研修を活かして、職員一同、有事の際にも適切に対応できるよう努めてまいります。



おやつ選び



七夕飾り



救急教室

## ふくふくほーむ（短期入所・日中一時）

管理者 吉川愛基

梅雨明けをしても蒸し暑い日が続き、更に暑さを増していくので熱中症には十分に対策・周知、室内の温度や水分補給の声掛け等徹底して参ります。

日中一時と短期入所を合わせて5名の定員ですが、ほとんどの日が定員を満たす利用となっています。

今年も新たな利用者様の利用があり、ふくふくほーむでの過ごし方にも少しづつ慣れてこられました。一人ひとりの利用者様を理解し、どの様に接したらより快適に過ごしていただけるのかを考えながら、一日一日を送っています。ご家族の方からも支援へのご意見やアドバイスなどを聞かせていただき、安心して楽しく過ごせる施設になるよう心掛けていきます。

## ヘルパーステーション バディ（行動援護・同行援護・居宅介護・移動支援）

管理者 吉川愛基

一昨年12月1日より、「ヘルパーステーション バディ」を開所させて頂き、はや1年以上が過ぎております。利用者様・ご家族の皆様並びに各関係機関の皆様には、大変お世話になり誠にありがとうございます。

この事業所では、居宅介護・行動援護・同行援護・移動支援を行っております。

現在、ヘルパーが赤穂市・備前市等（計9名）に勤めております。赤穂市・相生市・上郡町は徐々に展開しておりますが、まだまだ展開していく必要があります。

保護者様からのご依頼・ご要望があり、そのご要望に対して一緒に目標に向かっていきたいと思いますので、ご要望又はご相談があれば気軽にお電話やメール等いただけると幸いです。

一人暮らしの方への食事、調理、洗濯、掃除等の家事を援助しております。

又、外出時は公共交通機関を利用した、外食・買い物等をサポートさせていただきます。

最近あった事例ですと、ファミリア（グループホーム）主催の「多聞さんと歌おう」という音楽イベントに参加したいとのご要望があり、利用者様とヘルパー共に参加させていただきました。

利用者様・保護者様から喜びの声をいただきましたが、ご要望があったからこそだと感じております。

今後とも益々のご協力いただきますよう、何卒宜しくお願ひ致します。